

令和5年9月1日

2～6年生保護者様

寝屋川市立三井小学校
校長 澤井 啓士

**寝屋川市学習到達度調査、全国学力・学習状況調査、
すくすくウォッチの結果について**

初秋の候、保護者の皆様におかれましては、益々ご清祥のことと存じます。平素より、本校の教育活動にご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、4月に実施しました学習到達度調査、全国学力・学習状況調査、すくすくウォッチの各学年の結果についてお知らせします。個人票（2～5年生は7月配付済み）についても今後の家庭学習の参考資料としてご活用ください。5・6年生にはすくすくウォッチの結果を、6年生には全国学力・学習状況調査の結果を返却します。ご確認ください。

<令和5年度の正答率について>

各学年の全国平均との差は、2年生が -0.7 （国語） $+0.7$ （算数）、3年生が -7.7 （国語） $+0.9$ （算数）、4年生が $+5.1$ （国語） $+5.5$ （算数）、5年生が $+0.2$ （国語） $+1.8$ （算数）ポイントでした。すくすくウォッチに関しては府平均の差で、5年生では -3.9 （国語） $+1.2$ （算数） -5.4 （理科） -5.1 （わくわく）、6年生では $+4.1$ （わくわく）ポイント、全国学力・学習状況調査においては $+6.8$ （国語） $+2.5$ （算数）という結果になりました。各調査において、学年間でばらつきがあるものの、算数に関しては全学年全国平均を上回っています。国語に関しては、全体的に自分の意見や考えを表現する等「書くこと」の領域で正答率が低かったです。

<令和6年度に向けた課題について>

国語科において、特に自分の思いや考えを記述する設問について課題が見られました。日々の学習の中で、自分の意見等をしっかりと書くことを繰り返す、また友だちの意見を聞いて自分の意見と比べて考えることが大切になってきます。国語の学習時だけでなく、他の教科学習においてもそのことを意識する必要があると考えています。算数科では、「図形」の領域における問題の得点率がやや低く、基本的な立体図形や展開図・見取り図を用いた練習問題を日ごろから繰り返し解くことが必要であると考えます。

児童質問紙（全国学力学習調査）において、「読書は好きですか」の回答率が74%と全国平均より2.2ポイント上回っていました。本校の「読書ノート」の取り組みが子どもたちの読書への意欲を高めていると考えられます。また、「自分にはよいところがあると思いますか」の問いについての肯定的回答率が76.1%と全国平均より7.4ポイント低い結果となりました。今後、あらゆる教育活動を通して、児童の自己肯定感・有用感を高めていく取り組みを進めることで自分の良さに気づき、自尊感情を高められるようにしていきたいと考えます。